

仕 様 書

部署・部屋名	薬剤部
調達機器名	注射薬自動払出装置
調達数量	一式

1. 機器の構成(一式の構成)

1-1	注射薬自動払出装置	1式
1-1-1	空トレユニット(トレ台車仕様)	1台
1-1-2	ラベルプリンタユニット	1台
1-1-3	ディスプレイユニット	1台
1-1-4	注射せんぷリンタユニット	1台
1-1-5	完了トレユニット	1台
1-1-6	トレ表示システム	1台
1-2	トレ台車	10台
1-3	キャリヤベース	4台
1-4	基本制御	1式
1-5	導入支援	1式
1-6	解析連携	1式

2. 構成品の仕様

2-1	注射薬自動払出装置は、以下の要件を満たすこと
2-1-1	電子カルテと連携して注射オーダーを自動的に受信し、そのデータに基づいて注射薬自動払出装置を稼働可能であること
2-1-2	薬品補充業務の作業効率を考慮し薬品は薬品カセットに整列させて収納可能かつ、すべての薬品カセットは先入れ先出し方式であり、先に補充された薬品から順に払い出せること
2-1-3	患者トレは、B4トレ内を小分けトレで4分割したものを採用していること
2-1-4	注射薬の払い出しはトレ4分割方式とし、4分割された患者トレの分割部に施用単位又はRp単位に注射薬と輸液ラベルを自動投入可能かつ、注射せんぷもトレ内に自動投入されること
2-1-5	トレは、現在使用中のサカイ化学工業製のトレPB34-10(小分けトレ、トレ表示器付)が使用可能であること
2-1-6	カートは、現在使用中のサカイ化学工業製のカートC34-TNS418SAが使用可能であること
2-1-7	下記の搭載品が不足した場合、不足している用紙・薬品名・カセット番号などを音声で通知可能であること ●注射せん ●ラベル ●薬品
2-1-8	対象装置に以下の現象が発生した場合、音声で通知可能であること ●完了トレ装置内のトレ積載量が上限に達した場合 ●空トレ装置内のトレが無くなった場合 ●アンプラバール払出装置内の薬品に不足が発生した場合

仕 様 書

部署・部屋名	薬剤部
調達機器名	注射薬自動払出装置
調達数量	一式

- 2-1-9 装置に以下のエラー等が発生した場合、音声で通知可能であること
 ●注射せん、ラベルの紙づまり
 ●電子表示器へのデータ書き込み異常
- 2-1-10 処理速度は、1時間あたり500件から600件の施用を処理可能であること
- 2-1-11 装置に電源を供給できない状況でも、カセット棚を開けて薬品を取り出せる構造であり、調剤を継続可能であること
- 2-1-12 非常停止ボタンが各ユニットに備わっていること
- 2-1-13 注射薬自動払出装置の全ユニットは背面を開けることなく、正面からのメンテナンスが可能かつ壁付け設置が可能であること
- 2-1-14 注射薬自動払出装置は、下記の装置から構成されること
 ●空トレユニット1台
 ●ラベルプリンタユニット1台
 ●ディスプレイユニット1台
 ●注射せんプリンタユニット1台
 ●完了トレユニット1台
- 2-1-15 既存の薬剤部の注射解析システムより注射薬自動払出装置の連携するデータは、データを変換することなく連携可能であること
- 2-1-16 注射薬自動払出装置に使用する各マスク(薬品マスク、病棟マスク等)は、既存の薬剤部の注射解析システムのマスクを使用して稼働可能であること
- 2-1-17 制御PCの台数は1台であること
- 2-2 空トレユニットは、以下の要件を満たすこと
- 2-2-1 空トレユニットはトレを積載し、自動的にトレを供給可能であること
- 2-2-2 装置1台につき、深型トレを30個以上の積載が可能であること
- 2-2-3 専用のトレ台車を自動的に装置内にセット可能であること
- 2-2-4 トレ台車を用いて、15個以上のトレを一度に補充可能であること
- 2-2-5 トレ台車がセットされていない状況でも、薬品の払出しを継続可能であること
- 2-2-6 エラーの発生時やトレが足りない場合には、画面表示や音声で通知可能であること
- 2-2-7 外寸はW600mm×D850mm×H1,930mm以下であること
- 2-2-8 重量は200kg以下であること
- 2-3 ラベルプリンタユニットは、以下の要件を満たすこと
- 2-3-1 輸液ラベルは施用ごとに発行可能かつ、4分割の小分けトレへ施用やRPごとに入れられること
- 2-3-2 ロボットアームで輸液ラベルを掴むことで、正確にトレに入れられること
- 2-3-3 ラベルの搬送機構は、静電気を発生させにくいモータ制御であること

仕 様 書

部署・部屋名	薬剤部
調達機器名	注射薬自動払出装置
調達数量	一式

- ラベルには、以下の項目を自由にレイアウトして印刷可能であること
- 患者番号 ●患者氏名 ●病棟名 ●診療科
 - 生年月日 ●年齢 ●性別 ●医師名 ●薬品名
 - 2-3-4 ●保存区分(冷所・暗所など)
 - 薬品区分(輸液・毒薬・劇薬など)
 - 施用量 ●施用単位 ●手技 ●投与経路 ●施用回数
 - コメント ●処方区分 ●オーダー番号 など
 - 2-3-5 輸液ラベルに、投薬確認時に使用する患者リストバンドとの整合性が取れるバーコードを印字可能であること
 - 2-3-6 緊急時には、装置以外に設置したプリンタでも同様に輸液ラベルを印字可能であること
 - 2-3-7 輸液ラベルには、Windowsで使用するフォントを印字可能であること
 - 2-3-8 装置内に2台のプリンタを搭載し、1台に故障やエラーが発生しても、平常通りに印刷が可能であること
 - 2-3-9 4分割の小分けトレイに払い出すラベルは、以下の3サイズから選べること
 - 90×50mm ●90×60mm ●90×70mm
 - 2-3-10 外寸はW780mm×D850mm×H1,850mm以下であること
 - 2-3-11 重量は340kg以下であること(プリンタを含む)
 - 2-4 デイスプレイユニットは、以下の要件を満たすこと
 - 2-4-1 すべての薬品セットは、薬品を先入れ先出しできる整列方式であること
 - 2-4-2 装置1台につき、192種類以上の薬品を収納可能であること
 - 2-4-3 薬品を補充する際にセットを取り出す必要がなく、セット棚を引き出すだけでセットに薬品を入れられる構造であること
 - 2-4-4 薬品が不足している場合は、その薬品名とセット番号がモニタに表示されること
 - 2-4-5 処方の傾向や薬品の払出し数量に応じて、同一の薬品を複数のセットに収納可能であること
 - 2-4-6 薬品セットの配置換えは、部品の交換をすることなく薬品セットの移動のみで実現可能であること
 - 2-4-7 薬品セットは補充の効率を重視した開閉蓋がない構造で、セット上部から直接補充することが可能であること
 - 2-4-8 装置の引出しに複数のセットを収納可能かつ、複数の薬品を同時に補充作業が可能であること
 - 2-4-9 薬品セットは、薬品を補充しやすく、アンプルやバイアルを円滑に払い出せるように、内部に傾斜を設けた構造であること
 - 2-4-10 1つの引出しに8個以上のセットを搭載可能かつ、一度に8種類以上の薬品を補充可能であること
 - 2-4-11 デイスプレイユニットは、処理速度を考慮してピッキングロボットを搭載していること
 - 2-4-12 装置に電源を供給できない状況でも、薬品を取り出せる構造であること
 - 2-4-13 整列セットと5連フライングポートカットセットを並行して使用可能であること

仕 様 書

部署・部屋名	薬剤部
調達機器名	注射薬自動払出装置
調達数量	一式

- 2-4-14 切り分けられた5連フラインプも、5連フラインプオートカットセットに収納可能であること
- 2-4-15 5連フラインプオートカットセットは、5連フラインプをセット内で切り分け、任意の数量を払い出せること
- 2-4-16 薬品セットは、紙で包装されたスティックアンブル(ケイブ-N静注10mgやメチコバル注射液500 μ gなど)も払い出せること
- 2-4-17 薬品セットは、小型のプラスチックアンブル(カルコール注射液8.5%5mLやアスパラカリウム注10mEqなど)も切り分けられた状態でも収納可能かつ、払い出せること
- 2-4-18 外寸はW1,300mm×D850mm×H1,850mm以下であること
- 2-4-19 重量は700kg以下であること(セットを含む)
- 2-5 注射せんブリタユニットは、以下の要件を満たすこと
- 2-5-1 ホットアームで注射せんを掴むことで、正確にトレに入れられること
- 2-5-2 A4以上のサイズの注射せんを印刷可能であること
- 2-5-3 注射せんには、以下の項目を適切な位置にレイアウトでき印刷できること。
 ●患者番号 ●患者氏名 ●病棟名 ●診療科
 ●生年月日 ●年齢 ●性別 ●医師名 ●薬品名
 ●保存区分(冷所、暗所等) ●薬品区分(輸液、毒薬、劇薬等)
 ●施用量 ●施用単位 ●手技 ●投与経路 ●施用回数 ●コメント ●処方区分 ●オーダー番号 など
- 2-5-4 注射せんに、投薬確認時に使用する患者リストバンドとの整合性が取れるバーコードを印字可能であること
- 2-5-5 緊急時は、装置以外に設置したプリンタでも同様に注射せんを印字可能であること
- 2-5-6 注射せんには、Windowsで使用するフォントを印字可能かつ、カラー印刷が可能であること
- 2-5-7 装置内に2台のカラーレーザプリンタを搭載し、1台に故障やエラーが発生しても平常通りに印刷が可能であること
- 2-5-8 外寸はW1,000mm×D850mm×H1,850mm以下であること
- 2-5-9 重量は450kg以下であること(プリンタを含む)
- 2-6 完了トレユニットは、以下の要件を満たすこと
- 2-6-1 装置1台につき、26個以上のトレを積載可能であること
- 2-6-2 装置は導入後も増設が可能であり、8台以上を連結可能であること
- 2-6-3 間断ない薬品払い出しのため、13個以上のトレをトレ脱着装置で一度に取り出せること
- 2-6-4 トレ脱着装置や台車がセットされていない状況でも、薬品の払出しを継続可能であること
- 2-6-5 エラーの発生時やトレが足りない場合には、画面表示や音声で通知可能であること
- 2-6-6 外寸はW600mm×D850mm×H1,850mm以下であること
- 2-6-7 重量は200kg以下であること

仕 様 書

部署・部屋名	薬剤部
調達機器名	注射薬自動払出装置
調達数量	一式

- 2-7 トレー表示システムは、以下の要件を満たすこと
 - 2-7-1 トレー表示器に対し、表示する情報を送信で可能であること
 - 2-7-2 トレー表示器に対して個体を識別し、指定する以下の情報を送信可能であること
●患者名 ●施用日 ●病棟名 ●処方区分 ●保管区分 など
- 2-8 トレー台車は、以下の要件を満たすこと
 - 2-8-1 深型トレーを15個以上積み重ねて保管可能であること
 - 2-8-2 トレーを積載した状態で移動可能であること
 - 2-8-3 トレーを積載していない状態では、複数の台車を重ねて保管可能であること
 - 2-8-4 トレー台車は、空トレユニット内にセット可能であること
 - 2-8-5 トレー台車の台数は10台以上であること
- 2-9 キャリヤベースは、以下の要件を満たすこと
 - 2-9-1 トレーの取出しが可能であること
 - 2-9-3 13個以上のトレーを積み上げたまま、一括して取り出せること
 - 2-9-4 キャリヤベースの台数は4台以上であること

3. その他

- 3-1 機能以外の条件に関して以下の要件を満たすこと
 - 3-1-1 入札時点で製品化されており、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」の承諾を得た機器であること
 - 3-1-2 本装置のセットアップにあたって、当院の担当者と十分協議をおこなうこと
 - 3-1-3 当院が指定した場所に本装置を設置し、運転調整をおこなうこと
 - 3-1-4 システムや他装置との接続や連携が必要な場合、これらに係わる費用を含むこと
 - 3-1-5 本装置の搬入、設置、調整等は当院の指示のもとに実施すること
 - 3-1-6 本装置の稼動にあたっては、当院の指示のもとに当職員に関係法令に基づく十分な操作方法等の教育をおこなうこと
 - 3-1-7 納品時に、関連する規格/性能/取扱説明などに関する日本語版の文書を添付すること
 - 3-1-8 故障発生時には、速やかな対応ができる体制であること
 - 3-1-9 納入から1年間は無償保証・点検を実施すること
 - 3-1-10 既存装置の撤去、新規装置の運搬、搬入、据付工事及び試運転調整に係わる費用を含むこと